

第43次南極観測・越冬隊

第2話～美に酔うひと時

企画本部 櫻庭 俊昭



湧き出るオーロラ

南極の晴れた日の美しさは格別です。すさまじいばかりのブリザードが過ぎ去ると、空は満天の星、数少ない知っている星座：スコピオン（さそり座）を見つけるのも至難の技と言える程の星、星、星。この星々を覆い隠すように湧き出てくるオーロラ。その輝きに我を忘れる日があります。眠さをこらえてじっと待ち続け、現れたオーロラの下に自分が居る。ここにたどり着いた者だけが味わえる心高まる一瞬であり、感謝の気持ちで一杯になりました。デジカメですが神秘的なオーロラを撮影する事ができました。こんな光景に出会えたことに歓喜しておりますが、うまく皆様に伝える事が出来るでしょうか。

6月の極夜の時期にはもっとアク

ティブな動きのあるオーロラが出現するのでは？と期待していましたが、極夜が現実になってみると天候も良くなく、極端に寒くなり夜の撮影は厳しくなりました。

転がる太陽、沈まぬ太陽

5月24日頃から地平線上を太陽が移動します。転がる太陽として観られています。撮影を試みましたがうまくいったとは言いがたく心残りです。今度は沈まない太陽に挑戦します。時期は11月頃になるそうです。この頃は帰国の準備で忙しくなりそうですが何とか記録しお届けしたいと思っています。

ミッドウインター祭

日の出、日の入りが5月30日で記録されなくなりました。太陽が地平線から顔を出さなくなってしまうのです。極夜半ばのこの時期にミッド・ウインター祭（6月20

～23日）が開催されます。南極に居る各国の基地、隊員から素晴らしいメッセージが届きます。もちろん昭和基地からも発信されます。越冬中の我々の「手作りのお祭り」で、アッと驚くような演出が昼夜を越えて3日間続きます。生憎、43次隊には女性隊員は居ませんが、この時期には至る所で出没していました。お目にかかる時があるでしょう。お楽しみに！

南極大学開校

良く遊びよく学べで、5月中旬から8月中旬にかけて南極大学が開講されています。越冬隊員全員が講師となり受講生となって、週2回夜8時から1時間講義を聞いています。第43次の南極大学学長を勤めさせて頂いていますが、これはまったくの事務局兼会場設営係で、楽しく講義を聴く傍ら、隊員の修了証書と感謝状作りをしています。

今回は「気水圏観測」についてお届けします。



●昭和基地上空に現れたオーロラ（左） ●基地を訪れたコウテイペンギン（上） ●ミッド・ウインター祭に出没した女性？隊員（右）

